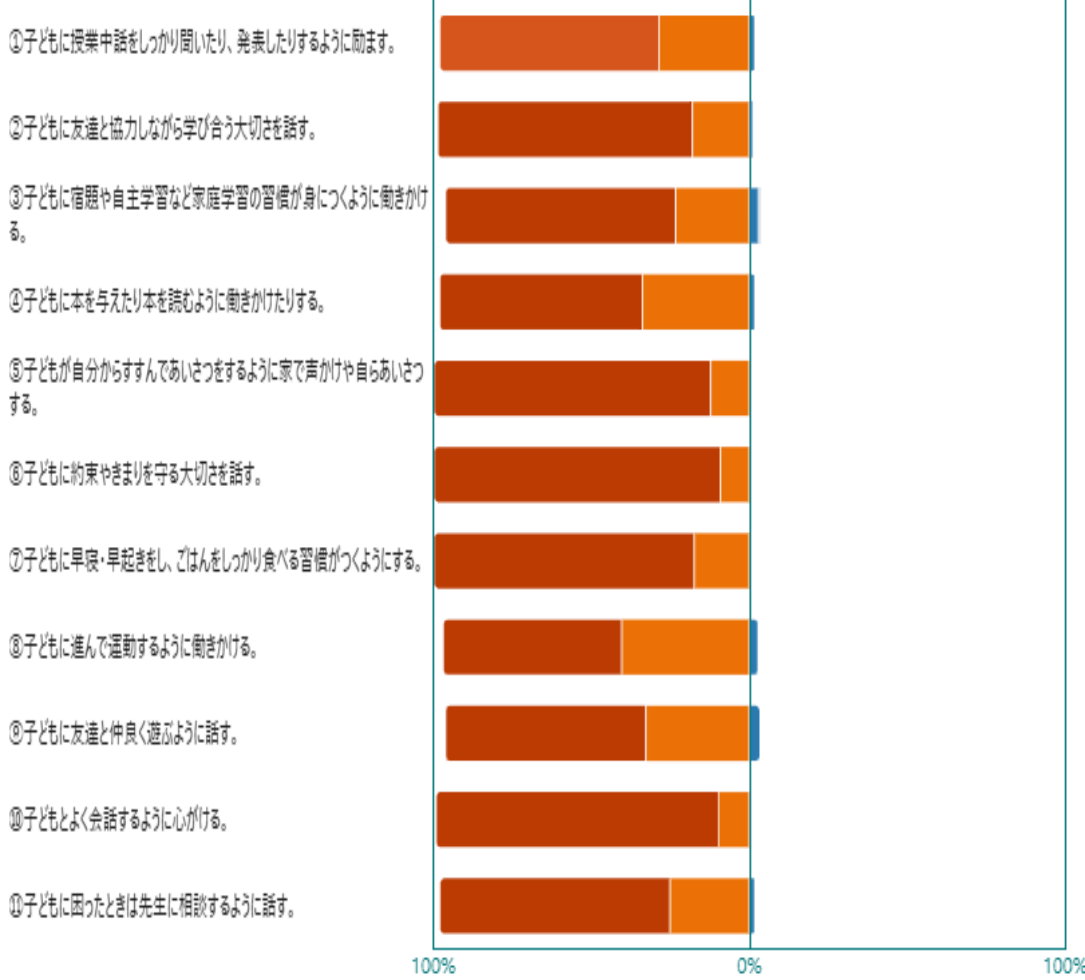




保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。先日はアンケートのご協力ありがとうございました。前期の学校教育アンケート結果をまとめましたので、お知らせします。

保護者 重要度

●重要である ●やや重要である ●あまり重要ではない ●重要ではない



※学校教育アンケート（保護者・教職員・児童）の結果は、真ん中の0%を境に、グラフ左側が「やや重要である」「重要である」、右側が「あまり重要でない」「重要でない」を示しています。文中の重要度は、「重要である」「やや重要である」を合わせた数値、実現度は、「よくできている」「大体できている」を合わせた数値を、全体に占める割合で表しています。

重要度の集計結果から

【保護者・教職員のみ】

保護者の方は、全項目で96%から100%の重要度でした。

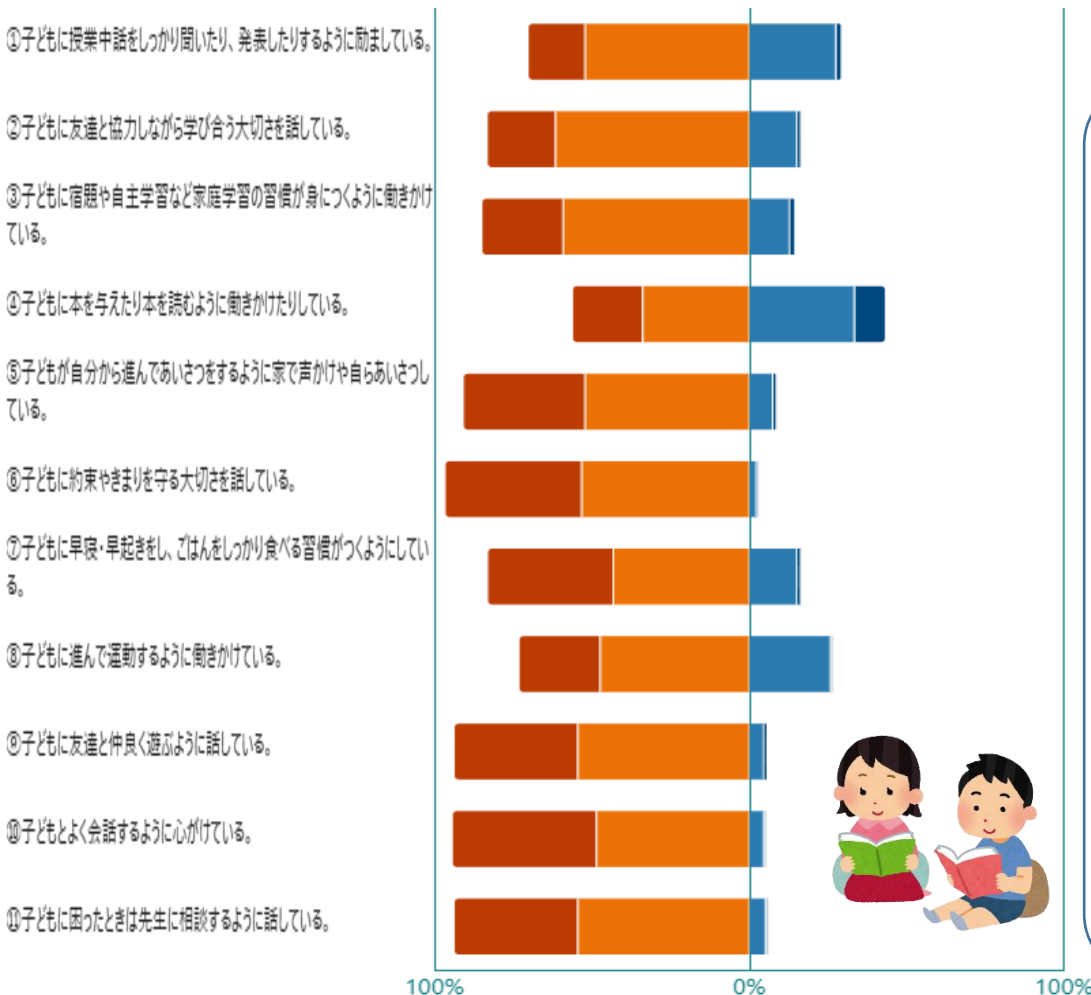
⑤あいさつ、⑥約束やきまり、⑦早寝・早起き・朝ごはん、の質問項目はどれも100%の重要度でした。

昨年度に比べ、③子どもに宿題や自主学習の習慣、⑨友達と仲良く遊ぶ、の質問でやや重要度を低く捉えられている傾向にありました。これは学習や人間関係に対する価値観が多様化していることの表れとも受け取れます。こうした保護者の皆様のご意見を大切に受け止めながら、宿題のあり方や友達との関わりの支援について、より柔軟で効果的な取組を検討してまいります。

教職員は、全項目とも100%でした。

保護者 実現度

●重要である ●やや重要である ●あまり重要ではない ●重要ではない



実現度の集計結果から

【保護者】

特に⑥約束やきまりを守る、については97%と非常に高い実現度が見られ、ご家庭できまりやルールの大切さを丁寧に伝えてくださっている様子がうかがえました。また、⑨友達と仲良く遊ぶ、⑩子どもとよく会話する、⑪困ったときは先生に相談する、といった項目も全体的に94%と高い実現度を示しており、子どもたちの人間関係や心のケアに対する関心の高さが感じられました。

一方で④読書の項目では56%、⑧運動の項目では72%と低い割合になりました。家庭での時間の使い方や、子ども自身の興味関心の幅広さなどが影響している可能性があるのかと思われます。

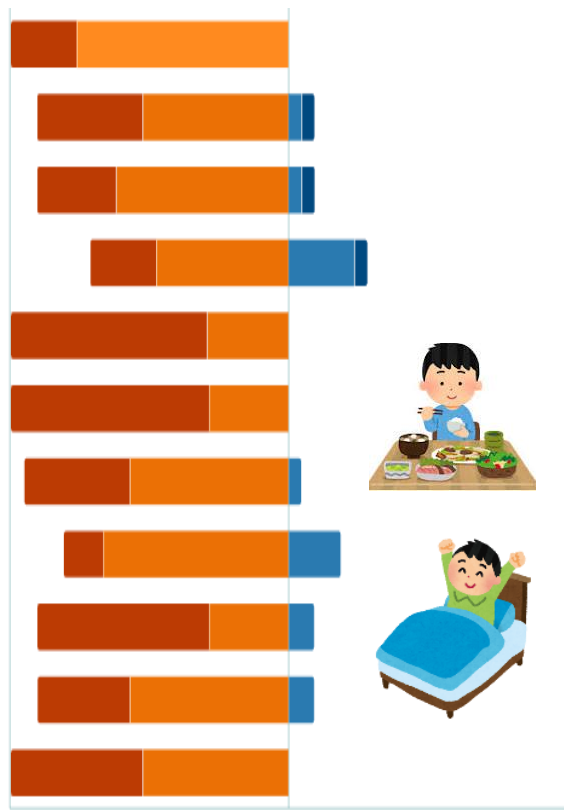
読書は言語力や想像力を、運動は体力や健康な体を育む大切な活動です。親や友達などの身近な存在が運動や読書に親しんでいると本人も「やってみたい」「楽しそう」と興味関心も自然と向くかと思えます。親子で一緒に読書の時間を作ってみたり散歩に出かけてみたりと無理のない範囲でご協力いただければと思います。



教職員 実現度

●重要である ●やや重要である ●あまり重要ではない ●重要ではない

- ①子どもに授業中話をしっかり聞いたり、発表したりできるように授業を工夫する。
- ②子どもが友達と協力して学習していけるように授業を進める。
- ③子どもに宿題や自主学習など家庭学習の習慣が定着するように取り組む。
- ④子どもに読書の習慣が定着するように積極的に取り組む。
- ⑤子どもが進んであいさつができるように教職員自らあいさつをする。
- ⑥子どもに約束やきまりを守る大切さを話す。
- ⑦子どもに早寝・早起きをし、ご飯をしっかり食べる習慣の大切さを話す。
- ⑧子どもに進んで運動するように働きかける。
- ⑨子どもに友達と仲良く遊べる学級づくりに取り組む。
- ⑩子どもが家の人と話すきっかけになるようなことをさまざまな方法で知らせる。
- ⑪子どもが相談しやすいような雰囲気や機会を作る。



【教職員】

実現度が100%だったのは①授業の工夫、⑤あいさつ、⑥約束やきまり、⑩相談しやすい雰囲気、の項目でした。

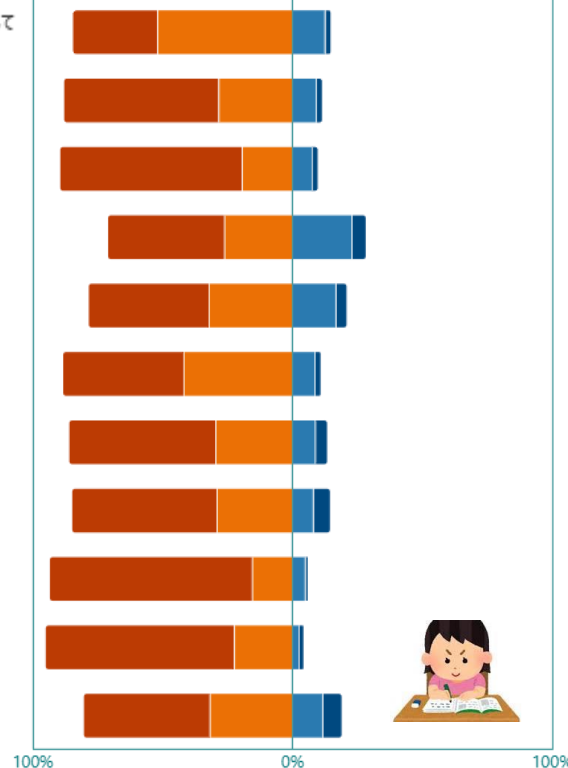
昨年度より上昇傾向にあったのは、①授業の工夫(89%→100%)、⑦早寝・早起き・朝ごはん(89%→95%)、⑩相談しやすい雰囲気(94%→100%)、の項目でした。教職員一同、学校生活の一番の中心である授業の改善は必須、そして、授業にきちんと参加するためには健康的な生活習慣の確立も必須であると考えています。また、良い授業は教師からの一方的な講義形式なものではなく、子どもたちが考えたり思ったりしたことを交流しながら進めていくものであると考えています。

一方、昨年度同様、また保護者の方と同様に④読書(72%→71%)⑤運動(72%→81%)の項目では低い割合となりました。2学期には体育発表会や読書週間を予定しています。読書や運動に楽しんで取り組む姿を増やしていきたいです。

児童 実現度

●重要である ●やや重要である ●あまり重要ではない ●重要ではない

- ①じゆぎょうにまじめにとりくみ、はなしをしっかりとしたり、はっぴょうしたりしている
- ②ともだちときよりよくしてべんきょうしている
- ③いえでかならずしくだいやじしゅがくしゅうをしている
- ④ほんをよくよんでいる
- ⑤まわりのひとにすすんであいさつしている
- ⑥やくそくやきまりをまもっている
- ⑦はやね・はやおきをし、ごはんをしっかりたべている
- ⑧すすんでうんどうしている
- ⑨ともだちとなかよくあそんでいる
- ⑩いえのひととよくはなしている
- ⑪こまったときはせんせいにそうだんしている



【児童】

④読書の質問項目は、前回に引き続き実現度が低く71%という割合でした。今後も、読書の習慣がつくよう、より一層取組を進めていきます。次いで実現度が低い割合だったのが⑪困ったときは、先生に相談の質問で81%でした。19%の子たちが学校での困りごとや悩みを先生に相談できていないということで、学校として重く受け止めなければならないところです。学校には、担任以外の教職員や養護教諭・スクールカウンセラーなどもいますので、全教職員が子どもたちと積極的にかかわり、話しやすい雰囲気作りを工夫していくようにします。

一方、⑩家の人とよく話しているの質問の実現度は一番高く95%でした。学校では相談できていなくても、家では話せている子が多いようです。お子様と話しておられて気になることがありましたら、ぜひ学校までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

自由記述欄から

「文中の“励ます”“話す”“働きかける”等の主語が、誰なのかが上手くみとれず、戸惑ってしまっていました。」「個人懇談などの確定日はもう少し早めに知らせてほしい。」「家での宿題はいらなと思う。学校で勉強して家ではストレスなく過ごしてほしい。」「学校側の教育としての目標と、保護者の教育としての目標が一致することが大切だと感じます。」などのご意見をいただきました。

保護者の方に回答いただいた質問の主語は保護者というつもりで作成いたしました。戸惑われる表現となり申し訳ありませんでした。また、個人懇談など保護者に参加いただく行事等のお知らせも遅くなりご不便をおかけしています。できるだけ早くお知らせするようにより意識してまいります。宿題に関しては、上記アンケート分析でも触れましたが、できるだけ子どもたちの負担にならないような形を検討していきたいと思っております。教職員と保護者が同じ方向(目標)を向いて子どもたちとかわっていけるように、いただいた全てのご意見は全教職員で共有し、今後の教育活動の取組内容に生かしていきたいと思っております。

学校運営協議会より

約束やルールを守る姿勢は、子どもたちの成長と社会性を育む大切な一歩なので「約束やきまりを守る」の重要度と実現度が高いのは、良いことだと感じます。また、あいさつの重要度も高いです。引き続き PTA、地域、保護者の見守りなどで、子どもたちとのつながりを大切にしていきたいです。

学校教育アンケート全体を通して

成果として、子どもたちが家の人とよく話したり友達と仲良く遊んだりしている実現度が高かったことは保護者の方のご協力のおかげです。読書と運動の実現度が低かったという以前から続いている課題ですので、改善に向けての対策を考え取り組んでいくようにします。これからも、教職員、保護者の皆様、地域の皆様が協力し合い、子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思っております。後期もどうぞよろしくお願いいたします。